

# 令和4年度（第2回）北九州市公共事業評価に関する検討会議 議事録

日 時：令和4年6月22日（水）

14：30～15：20

場 所：八幡西区役所 6階 602会議室

## 1 事業内容説明について

【事前評価2】本城資源化センター建設事業

～事業課より資料6に基づき説明～

## 2 内部評価結果について

～事務局より資料8に基づき説明～

## 3 質疑応答について

### ○構成員

建て替えられるということで、建物を見学させていただきましたが、外壁のところにひびが入っていて、実際に調べたわけではありませんので断言はできませんが、色が染み出ている、結構亀裂が進んでいるのではないかと思います。建物内で作業されている方のことを考えると早く環境を改善したほうが良いのではないかと思います。

それと建物の中の環境についてですが、やはり匂いであるとか暑さとか、真夏とか真冬はどういう状況なのかなど、必ずしも快適な環境ではないと思われましたので、新しく建て替える際には、快適な環境となるよう努めていただきたいと思います。

また、今回近くに建て替えられると思いますが、なぜひびが入ってしまったのか、それを多少補修しているところはあったものの、なぜ雨漏りをする状況になってしまったのか、同様のことが起こらないようにしっかりとメンテナンスをする必要があると思います。

### ○座長

特に最後のメンテナンスのところについて、海沿いの建物であることを考慮した形での建設であるとか、その後のメンテナンスとかその辺の考えについて説明をお願いします。

### ●事業課

やはり25年経ったということで経年劣化もありますが、やはり工事のコンクリートの打ち方にも若干問題があったのではないかと考えております。今回事業を進めるにあたっては、要求水準書の中で将来的には、設備、施設は市のものになりますので、その辺り将来的な補償も十分に配慮できるような要求水準書の書き方を配慮していきたいと思っております。施設としては30年使うため、しっかりと考えたいと思っております。

### ○座長

現在、建てられている古い建物は、新築を建設して移管した時に、そこはもう全部スクラップされる予定になっているのでしょうか。

### ●事業課

これについては、まだ使える部屋が一部あるというふうに確認しておりますので、その辺り有効に活

用することも考えつつ、将来的にはまた解体となりますが、しっかりと検討していきたいと思います。

### ○座長

立地の問題上やはり海に近いというのは塩害であるとか、それから周辺生物との関係で劣化するスピード速くなることもあり得ますので、そこについても耐久性の高い素材を使うとか、要求水準書にしっかりと書き込むようにお願いしたいと思います。

### ●事業課

通常公共施設については、海辺から2キロ以内の所については、必ず耐塩害仕様にしななければならないといった決まりもありますので、対策したいと思います。

### ○座長

あと25年程度普通は建物まだ使える期限だと思いますので、ひびが入っていて補修をしながらに使っていますけれども、立地の問題に対応し、配慮していただきたいと思います。

### ○構成員

施設の見学をさせていただいて、老朽化の状況が分かりました。労働環境を改善して、働きやすい施設にすることが効率化に繋がる、という考え方にも賛同できるので、建て替えの必要性は実感しております。

一方で、建て替え後の処理能力と要処理量の関係についてですが、施設の今後の要処理量は人口減少の中で、少なくなっていくと見通されているとのお話を伺っておりますが、今後リサイクルに対する意識の変革もありますし、処理能力と要処理量の関係が適切かどうかについては、確認をしながら進めていただければと思います。

それともう1点は、事業方式のところでございます。DBO方式ということでお話を伺いましたし、その優位性というところもご説明いただいたと認識しております。他方で、民間の工夫を入れることで他の方式の方が優位性のある部分もあります。本件をDBO方式で進めるとことに異存はありませんが、民間の創意工夫をできる限り活かしていくという形で、本事業に取り組んでいかなければというふうに思っております。

### ○座長

それでは、2点について、まずは、処理能力がぎりぎりではないかということです。

### ●事業課

まず、処理能力につきましてはどういった算定をしているかということ、ここ10年間のトレンドがあり、それに人口減少があり、今後については、ごみの減量化の取り組みといったものがあります。循環計画というものを市の方で作成しております、これについては、令和元年を基準として令和12年度までに17%程削減するとなっております。一方で、リサイクルの目標というのが、同じ期間について、3%程度向上させるとなっております。こういったリサイクル施設でごみの減量をしつつ、リサイクル率が進むとごみが増えるというちょっと特殊な状況にあります。そういったことを基に、将来的な推計、それに対する必要な処理能力を定めております。それに当たりましては、毎月、かなり変動もありますので、その変動も含めてこれだけあれば十分だということで、またこれから発注にあたりましては、その辺りしっかりと検証した上で、対応していきたいと考えております。

### ○座長

粗大ごみの破碎施設を併設するというそちらの処理能力は大丈夫でしょうか。

## ●事業課

こちらも基本的には、同じような考え方に沿いまして、これまでの実績等を踏まえた上での不燃粗大ごみの推計となっております。

事業方式につきましては、今お話がありました通り、公設公営に比べて、それぞれの方式が、どれだけ良い面があるかと、DBO 方式についてはお話しいただきましたように、運営維持管理のところで、やはり少し金額が出てきたりするところはあるかもしれませんが、ここは維持管理まで含めて、設計、建設ができるというところで、出来る限り民間のノウハウをいただきながら事業を進めていきたいと考えております。

## ○座長

一通りご意見ございましたので、続きまして本日ご欠席の構成員の皆様のご質問ご意見を事務局からご説明いたします。

## ●事務局

本日ご欠席の3名の構成員コメントを紹介させていただきます。

まず1人目の構成員から、本城資源化センターでのAI等の途中導入は可能なのか。DBO方式で20年間の運営となるので、導入をしないということでは良くない。検討できる余地を残すと良いのではないかと。

続きまして、2人目の構成員から、1つ目、今後、選別作業においてAI技術等の活用が考えられるが、障害者雇用の意義を確認し、慎重に検討していただきたい。2つ目が、北九州市は環境分野において先進的な取り組みをしているため、大いにPR出来るように、今回の事業でも環境への負荷を低減し、環境への配慮についてしっかりと取り組んでいただきたい。

最後に、3人目の構成員から、作業環境が良くなるように配慮していただきたい。

## ○座長

まず、共通だったのはAI技術の導入を検討すべきだということですが、そのあたりは現状どういふふうにお考えでしょうか。

## ●事業課

AIについては今回、かんばんの処理施設のベルトコンベア上にごみが行くことで、一つの見方としては、かなりAIが適用できやすいものという認識ではある。現状、民間でもそういったことが進められてはいるとは承知しておりますが、まだやはり、識別の能力が課題となっている。現状の人の手による選別レベルにするには、例えば、2回ラインを通さないといけないであるとか、やはりそこまでいかないという状況ですので、まだちょっと時間かかるのかなという気がしています。そうとはいえ、こういったAIについては、かなり進展していくことも想定されます。今回の事業方式では、施設が市の所有になるということもございますので、その辺技術革新等見ながら、ある程度柔軟な対応は可能かと思っております。ただ、事業者との契約でもありますので、契約の見直し等しっかりとできればと思います。

## ○座長

新しい施設の処理の方式が、現状から変わって例えばAIを導入すると、雇用にも影響する可能性はあるということですか。その時の処理方式の相違が出てくる可能性はあるのでしょうか。

## ●事業課

確かに今働いていらっしゃる方々というのは、現状の作業に非常に慣れていらっしゃると思います、その

中で一定の収入を受けながら、障害者年金等が別途あるのですが、やはり自立して働ける職場として喜んでいただいているという現状があります。一方で、若干破片が飛んできたりとか危険性を伴うところもありますので、その辺りは作業を仕分けして、危ないところはAIで、一方で飲み残しがあったり、煙草が入ったりという作業は人がやった方が良いでしょう。仕分けをしながら、上手く組み合わせればと考えております。実際には、保健福祉局とよく話をし、現状がいいのか、また新たな仕事はないのかそこも含めて検討していきたいと思っております。

### ○座長

働いている方の安全性の観点から、作業工程をやはり見直していただき、安全性も高まるし、効率性とそれから運営がより効率的になるという形で、作業工程を再検討していただきたいと思っております。

### ●事業課

障害者支援団体ともよく話をしていきたいと思っております。

### ○座長

全てをAI技術でやることで代替していくと、逆にその雇用の場も失われていくという危険性もあるので、そこは程度の問題かなというふうに思います。

それとあとは、AI技術をどの段階で入れるのかというのは、スケジュールの問題として大きな問題があって、つまり、作業工程が固まってでき上がってしまうと、そういった新しい技術が入れづらいというような状況になる可能性があると思います。ですから、現状で、その技術水準書みたいなものをきちんと精査していただき、それを入れる確率が高ければそれに対応した例えば、レイアウトであるとか、具体的な設計を前もって配慮しながら作っていくことが必要だと思っております。その事前の調査や精査というのは大事だと思っております。

最後に、1点、現場でお話を伺いましたが、結構工場見学で小学生とか入れて啓発活動いということで、現場歩いてみるとなかなか厳しい工場見学のコースかなと思っておりますので、小学生等が安心安全な形で、工場見学を出来るようなレイアウトであるとか移動のルートを少し配慮していただくとありがたいと思っております。それを積み重ねることによって、今日出てきたペットボトルの飲み残しをそのまま入れるとか、はさみとか包丁等をそのまま、かんの袋と一緒に入れるとか、そういったことが防がれてくると思っておりますので、啓発活動の一環として配慮していただきたいと思っております。

### ●事業課

その辺りは、事業者から、よりよい提案を聞き出すというところがポイントだと思っておりますので、入札説明書にその辺り記載をして良い提案が出やすいように対応していきたいと思っております。

### ●事業課

新しい日明かんびん資源化センターに行った時に、劇的に臭いがしなくなっておりました。先ほどから話が出ておりますけれども、障害者の方が働く職場としては、市民の皆さんがちょっとゆすぐだけで、臭いが変わってきますので、快適な職場を目指していくためにも啓発活動をしっかりと行っていきたいと思っております。

### ●事業課

補足ですが、視察でご案内したルートは、作業環境を理解していただくために作業場を通っていただくルートを設定しましたが、小学生等の見学では、別に見学者用通路を現施設にも設けております。安全性に配慮して見学を実施させていただいております。

**○座長**

それと B/C の計算についてですが、これは回収した金属、それから、プラスチックの販売益も入っているのでしょうか。

**●事業課**

これは入れております。

**○座長**

他にご意見等ございませんでしょうか。

**○構成員**

1 点補足になりますが、民間の活用の話をさせていただいたものの、他方で障害者雇用も非常に重要なところ。障害者の事業者さんの方から、入札金額だけの判断では、事業に入れない、というようにお話を聞いたりしております。何でもかんでも民間化ということではなく、障害者雇用であれば、その方針をしっかり障害者雇用として打ち出していただければと思います。また、建物の仕様を考えると、そういった障害者の方が働きやすい建物の仕様等を考えていただくということも、最初の段階で打ち出していただいた方が分かりやすいのかなと思います。  
以上です。

////////////////////////////////////

それではご意見をいただきましたので、ここで皆様の意思確認をしていきたいと思っております。

構成員の皆様の一つ、確認しておきたいと思っております。基本的に、当該事業をこの計画を進めていくことに対して、ご異議、ご意見等ございませんでしょうか。

( 異議なし )

異議なしということよろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは、当該事業については、この計画どおり継続していくことを前提としたうえで、検討会議としての意見を整理しておきたいと思っております。

////////////////////////////////////

1 点目は事業の必要性について、施設の老朽化の状況を鑑みるに、建替えて改善する必要がある。施設・設備の将来的な保守も考慮して、事業を進めていただきたいと思っております。

2 点目は労働環境の改善について、作業環境の向上を通して、労働環境の更なる改善を図っていただきたいと思っております。

3 点目は、選別作業について、障害者の雇用に配慮しつつ、AI 技術等の導入を今後検討していただきたい。また、その際には障害者にとってより安全性の高い作業工程となるよう検討していただきたい。

4 点目は、民間活力の導入について、民間の創意工夫を取り入れ、事業を推進していただきたい。

以上、4 点について、このような意見を公共事業評価に関する検討会議の意見としたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

( 異議なし )

ありがとうございました。

それでは具体的な記載内容につきましては、座長である私がお預かりしまして事務局と調整させていただきます。よろしいですかね。

( 異議なし )

はい。それから、本日の会議資料に議事録については後日、市のホームページに掲載することになりますが、議事録については私が事務局と調整させていただきたいと思います。

それでは今後の予定につきまして事務局から説明をお願いいたします。

### ○事務局

ただいま構成員の皆様のご理解をご了承いただきましたとおり、本城資源化センター建設事業につきましては、現計画のとおり事業を進めさせていただきたいと思います。

今後の予定といたしましては、本日の検討会議の意見を踏まえまして、市が対応方針案を作成し、パブリックコメントの手続きに入らせていただきたいと思います。以上でございます。

### ○座長

ありがとうございました。

それではこれで本日の検討会議を終了したいと思います。皆さん、大変、お疲れ様でした。